



# もいおかYMCA ニュース



## アドベンチャークラブ 5月活動盛岡再発見！！

アドベンチャークラブの活動が、5月28日(日)行われました。今回のテーマは、盛岡再発見。地図を片手に、本町から、岩手公園までの間に隠された、6つのお札を探します。また、その途中に盛岡にちなんだ、14の問題を解き、正解するとまた、お札がもらえます。それぞれのお札には、文字が書いてあって最終的に20のお札の文字を組み合わせて一つの文章を作り出していきます。当日は、15名の子供たちと4名のリーダーが参加。3つのグループに分かれ、小雨の盛岡の街を歓声を響かせながら取り組んでいました。



お札をみつけたぞ！！

## YMCAキャンプで育まれるもの②

### 参加型学習

今、学校教育関係者の間から熱いまざしを送られてくる学習方法に「参加型学習」がある。従来の知識中心の「詰め込み学習」が行き詰まったことがその背景にある。それでは実際に行われている参加型学習にはどのようなものがあるのだろうか。

たとえば、よく使われているものに「部屋の四隅」がある。ある設問に対して「ひじょうにそう思う」人は右前のコーナーへ、「そう思う」人は左前のコーナーへ、「あまりそう思わない」人は左後ろ隅へ、「全くそう思わない人」は右後ろ隅へ、それぞれ移動する。そしてなぜそこに移動したかをインタビューする。こうすることで手をあげて発言することが苦手な子ども、自分なりに選択をして発言できるようになることが期待されている。参加型学習の代表的な例をあげるならば、他にもブレイン・ストーミング、ロール・プレイ、ディベートなどがある。

今から7年ほど前に参加型学習の講習会に参加したとき、それらの手法のほとんどは自分がかつて体験したものであることに気づいた。私が山手YMCAで青少年のリーダー活動をしていたのは1970年代であるが、そこで行われていたリーダーシップ・トレーニングや子供対象のゲーム自体に、今注目されている「参加型学習」のネタのほとんどが含まれていた。もちろん目新しい手法があったが、それらも過去の体験から容易に理解習得できるものであった。

以前、2002年からの「総合学習」で規定されている、環境、国際理解、情報、福祉、健康、といった分野はYMCAが先駆的に取り上げてきた分野であると述べた。実は学習内容だけでなく、それらを行う方法論の点でも私たちははるか昔に実施していた。このことは日本の学校教育が今何を課題としていて、どのように変わろうとしているのかを示唆するものである。

(立教大学教授 田中治彦)

### OJのワンポイント バイブル講座

すべてのことについて感謝しなさい。  
(第1テサロニケ5章18節)

現代の世の中で、多くの人が感謝することを忘れてはいないでしょうか。家庭の中で、夫婦、親子、兄弟、姉妹、あるいは友達などに感謝する心が失われつつあるのではないのでしょうか。

感謝することと、不平、不満を言うことは人生を全く違った色に塗りつぶしてしまう2つの対照的な心の態度ではないでしょうか。感謝する心を持つ人は、人生を喜びと祝福に満ちた明るい生活ができるのです。しかし、不平、不満をつぶやく心、また態度を持つ人は自分で自分の生活をさびしい暗くて、冷たい人生をおくります。

感謝する心は、すべてのことに、慰めを見出すことができます。不平、不満を言う心はすべてのことに問題と欠点を見出します。感謝は、あらゆる祝福をひらく鍵ですが、不平、不満はその門を閉ざしてしまうのです。人生には実にたくさん不平、不満、不信が満ちています。そして、この不平、不満、不信が人生を暗いものにしているのです。

第一に不平、不満な心には平和がなく、満足がありません。不平、不満を言う人は、一文の得にならず、自分で自分を不幸にします。第二に不平、不満をいう人は人を傷つけ、人を不幸にします。ある英語の辞典をひいてみますと「人を非難する」とでておりました。人を責め、人を批評し、皮肉な言葉や、冷たい目の色や、恐ろしい沈黙を持って、人の心を突き刺し、悲しませ、つまらなくさせるのです。

食卓を囲んで一家が食事をするとき(最近の家庭では皆いつよに食事をするのが少ないようです。)一人でも、なにか不平、不満でふくれている人がいてごらんください。もうその食卓は、そのものがうまありません。たった一人の不平、不満は伝染して、回りの人まで不平にしてしまいます。そしてその不平、不満が爆発して暴力になったり、夫婦げんかになったり、親子、兄弟げんかなり、それが国と国の戦争になるのです。実に恐ろしいことです。自分自身の不平、不満のゆえに自らをほろぼします。今回は、不平、不満を言う心に比べて、感謝する心は一体どうなのかを述べたいと思います。